

給食に思いを込めて——

ちょうりじょうゆうびん

8月の予定献立表

ーおらほの食材ー

米・小松菜・きゅうり・なす・ピーマン・トマト・
いんげん・かぼちゃ・にんにく・じゃがいも・
みょうが・ズッキーニ・納豆・みそ等

日	曜日	料理名
18	月	そばろどんぶり・牛乳・いかとわかめの酢のもの・高野豆腐と小松菜のみそ汁・ブルーベリーゼリー
19	火	ごはん・牛乳・あじ松葉開きフライ・キャベツのそぼろ炒め・根菜のごま汁・お魚ふりかけ（中学生のみ）
20	水	コッペパン・牛乳・フレッシュトマトのナポリタン・くきわかめとお豆のサラダ・ウインナーチャウダー
21	木	ごはん・牛乳・ソースがしみしみとんかつ・大根サラダ・じゃがいもとわかめのみそ汁・オレンジ（中学生のみ）
22	金	ごはん・牛乳・さわらの西京焼き・ひじきの炒り煮・みそワタンスープ・ピピピチーズ
25	月	ごはん・牛乳・鶏肉のレモン漬け・調理場のだし・コーン入りたまごスープ

今年の気候は、気温が高かったり低かったりと野菜の生育が読めない中ですが、可能な限り地場産野菜の納品をしていただいています。

8月も引き続き夏野菜を使った「夏野菜カレー」「フレッシュトマトのナポリタン」などを予定しています。

長い2学期のスタートです。子どもたちが毎日元気に登校し、勉強や運動に取り組めるよう、栄養たっぷりの夏野菜をおいしく調理して届けたいと思います。

日	曜日	料理名
26	火	つけめん・牛乳・にくシューマイ・カミカミサラダ・元気ヨーグルト
27	水	食パン・牛乳・チキンのハニーマスタード焼き・チーズインサラダ・白鷹産トマトのミネストローネ・ファイバージャムストロベリー
28	木	夏野菜カレー・牛乳・オムレツ・青菜と切干大根のごま和え・ビーンズカル
29	金	ごはん・牛乳・鶏と根菜の平つくね・ほうれん草のミモザ風ソテー・なめこのみそ汁・白鷹産大豆の納豆

※材料の都合により、献立を変更する場合があります。

町報川柳 — 線 —

仰ぎ見るあの稜線はもう行けぬ	鮎貝 植木 英夫
遠い日の二本の線路旅日記	菖蒲 小関 弘
清張の夢中で読んだ点と線	荒砥乙 保科 努
今も又のどかに走るローカル線	高玉 高橋 朝子
一直線あなたの歩みブレがない	浅立 梅津美千子
長井線いつ又乗れる懐かし	横浜 小形 聡明
古い二人ドライブよりも長井線	十王 松野いせ子
年重ね身体の線が気にかかり	荒砥乙 木口 とよ
長井線現実逃避異空間	箕和田 土屋 平敏
長井線今がさかりのフラワー達	高岡 安部 健一
長井線黒字を乗せて軋む音	山口 石川與次衛門
有線電話今は骨董黒電話	坂戸市 安達 功
人は皆線と々でつながっている	佐野原 竹田 正子
国守の前線兵士極限に	十王 守谷 勝助
一線を越えて悲劇のストーカー	十王 五十峯 隆
年一度超満員のフラワー線	十王 五十峯和恵
広い空二つに割って一直線の飛行機雲	山口 渡部喜美子
老人が直線歩けぬ年だもの	畔藤 安達 次男
長井線荒砥駅まで宴会だ	十王 松田 久一

次回「米」八月二十五日まで／「読」九月二十五日まで（※作品には、ふりがなを振ってください）

白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

3年間の活動を振り返ってー

今

月末で地域おこし協力隊の任期満了となり、今回の通信が、地域おこし協力隊として最後のあいさつとなります。

地元・白鷹町に戻ってからの日々はあっという間で、コロナ禍の東京からUターンする決断をしてよかったと心から感じています。約10年ぶりに戻った白鷹町は、美しい自然や懐かしい風景は変わらないままでしたが、「白鷹町まちづくり複合施設」や「NIPPON IIA白鷹源内邸」、「歴史民俗資料館あゆみしろ」など、町の魅力となる新しい施設が増えていることに感動を覚えました。

この3年間、「NIPPON IIA白鷹源内邸」での活動をはじめ、地域の魅力発信、移住推進支援、「しらたかマルチワーク事業協同組合」の立ち上げと運営など、多岐にわたる活動に携わらせていただきました。

また、白鷹を盛り上げよ



う実行委員会の皆さんとの「ふだふだ市」開催を通じて、地域コミュニティの力強さを肌で感じたり、やさしい畑 i make さんでの農業体験イベントでは、白鷹町の豊かな自然と、それを守り育てる人の想いをより深く感じる事ができました。

活動を通して、これまで関わることがなかった地域の人たちと触れ合うことができ、自分が知らない町の魅力や良さを教えていただきました。生まれ育った町でありながら、まだまだ知らないことばかりだと改めて感じています。

これからは、白鷹町民の1人として、白鷹町がさらに飛躍し、活力ある町へと向かうよう、微力ながら尽力していきたいと思っています。任期中の3年間、自分と関わっていただいた地域の方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

企画展「もうひとつの暮らしの回路」開催中

展示のみどころの一つに茅の活用があります。出展者の濱定史氏によると、茅（ススキや葦などの植物）は屋根材に使用されていましたが、燃えやすく腐りやすいこと、メンテナンス頻度の多さや職人の減少など、現代の社会生活や需要から離れたため、希少な屋根になりました。しかし、「建築の更新時に懸念される廃棄物や環境負荷軽減・資源循環など現代的な重要課題をすでに解決している材料ともいえる」と、語ります。

茅を使った仮小屋や、もう一人の出展者永岡大輔氏と共同した「球体の家」の壁に茅を使用しています。茅葺き屋根には遮熱効果もあったといえます。この酷暑も遮ってほしいものです。



写真上：茅のポリカ小屋
下：外壁を考える「茅壁」2024



あゆみしろ

白鷹町歴史民俗資料館

物 つむぐ みんなで
語

白鷹町大字十王
2558 番地 1

☎ 88-7160

開館日：金・土・日

時 間：9時～17時

期 間：11月2日（日）まで

観覧料：一般 200 円、中学生以下無料、団体 100 円